

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名 Ambiデイ教室(仙北駅前教室)

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	・利用時間を割り振り工夫している。	時間帯と活動時間、児童数等、総合的に考え安全と充実を図る。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	0		現在の連携体制を継続し、必要に応じて修正する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	3	・主たる活動室内の段差の解消 ・場所に応じルールの設定やパーティションの設置などで工夫している。	可能な範囲での補助器具の設置、安全面を重視した環境整備を進めていく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	0		内容等見直ししながら継続する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	1		継続して実施する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0		継続して実施する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	3	・外部の意見を聞くなど機会を確保していきたい。	第三者委員会を設置しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	1	・研修の機会が不十分だった。	義務化研修以外、講師招聘、時間確保が課題となり不定期の実施となっている。オンラインの研修なども視野に入れていく。
適切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	・アセスメントを行い共有に努めている。	お子様、保護者さまご本人に加え、生活する上で関わる社会全般へ向ける視点を忘れず、客観的なアセスメント、計画への反映となるよう努めていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0		継続して活用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	・集団としての特性も考慮しながら活動内容を工夫している。 ・チームで立案する場合と担当者主導で行う場合がある。	集団、個別を問わず職員間で支援方針について統一した認識を持った上でのプログラム立案が定着するよう、工夫していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	1	・様々な可能性を提示しながらプログラムを考えている。	5領域をバランスよく取り入れた活動となるよう、検討していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4	0	・児童ごとの特性と全体の流れを考慮し、可能な範囲で工夫している。	個人だけではなく集団としても適切な課題を設定できるよう努めていく。また個々の達成状況を把握して次の課題設定につなげていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0		それぞれの変化に応じて修正を加え、充実を図る。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0		継続して実施する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0		継続して実施し、次の支援に有効に生かすことができるよう、共有方法を検討する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0		継続して実施する。 記録の仕方を見直し、より充実を図る。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0		コロナ禍が明け定期的なモニタリング実施が可能となった。必要に応じて時期を早めるなど柔軟に対応し支援につなげていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	2	0		今後一層ガイドラインの内容をバランスよく取り入れた支援となるよう努めていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3	0		児童発達支援管理責任者をはじめ、適切なものが出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	1	・学校との連携が不十分であった。 ・学校ごとの実態により十分な機会を持ってないことがあり難しさを感じている。	学校、保護者様との連携と信頼を保ちながら丁寧に対応していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	2	・受け入れていない。	医療的ケア児の受け入れはしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1		継続して対応する。また、状況に応じてその当該事業所や園等へ訪問し連携を図る。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4	0		該当のお子様がいる場合、必要に応じて、また保護者様からのご同意を頂いた上で情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1		継続してより一層連携、連帯を深めていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	・事業所（法人）内で児童にとって無理のない形で交流している。	保護者様や児童本人の様々な意向を踏まえ慎重に検討する。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	5	2		可能な限り積極的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0		継続して対応する。 日々の共有を大切にしながら、課題となることには即時対応し、必要に応じて直接面談などを行い共通理解を図っていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	3	・柔軟な対応が課題と感じる。 ・必要性を感じてはいるが実施するのは難しい。	面談の中で、そうした視点につながることをお伝えできるよう努めている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	0		契約時、および内容の変更時には必ずご説明し、書面で発行、ご同意を頂いている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	・申し出者、事例により適任者が対応できるよう努めている。	今後も継続し、臨機応変、柔軟に対応して参ります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	4	・保護者、児童の背景は多様であるため慎重に対応する必要があると感じる。 ・個人情報保持の観点から保護者同士の連携はほとんど支援していないが職員と保護者との連携がしっかりとれるよう態勢を工夫している。	保護者様をお迎えするイベント実施日以外、現在は見合わせております。様慎重さが求められる面もありますので保護者様方のご意向を伺いながら、検討していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0		苦情解決相談窓口および責任者を設置し、迅速かつ誠実な対応に努めている。頂いた苦情、ご意見はすべて記録し、それ以降の改善に生かしており、今後も継続、努力していく。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	4	0		定期的な会報発行は滞ってしまいましたが、随時お便りを配布し情報発信に努めた。今後発信方法を含め良い形を検討していく。
	35 個人情報に十分注意しているか	7	0	0		継続して対応する。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0		継続して対応する。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	5	・感染症対策や児童・保護者の考え方を考慮すると課題もあるが、社会の中での児童の様子を知る大きな手掛かりであるとも思っている。 ・事業所内で安心して過ごせる環境づくりを優先、外部との交流はあまり設けていない。	可能な範囲での実施を探っていきたい。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0		全てのマニュアルを策定し周知しているが、再度の周知徹底を図る。また、改定時の再周知を徹底する。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0		定められた年2回に加え合計3回の防災訓練を実施している。来年度も継続し3回実施予定。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3	0		年1度（毎年4月）および新規採用者があった場合、当該研修を実施している。次年度も同様の実施計画となっている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4	0		契約時はもちろん、個別支援計画書内に明記、保護者様へ説明し、ご同意・ご捺印をいただいている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	5	0		保護者様よりアレルギーの有無をうかがい、医療機関から指示がある場合はその内容を併せて職員へ共有、その指示のもと対応している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2	0		毎月ヒヤリハット事例の共有し、事例集としてまとめている。同法人の3事業所で共有し対応に生かしている。